

ICT活用で確かな学力をつけよう(実践報告)

1. 学年・教科 4年 算数

2. 単元名 円と球

3. 実践者(所属) 佐藤 拓 (久本小)

4. 活動を始める前に

(1) 準備するもの

教材提示装置

プロジェクター

(2) ICT機器やメディアの活用のねらい

コンパスの使い方を「大きく」見せることで、正しい使い方がわかる。

5. 指導計画

次	児童の活動	指導上の留意点
1	身近な円や球の形を探す 円概念の理解 直径と半径の関係を理解し、コンパスの使い方を知る。	・身近な物の形から「円」や「球」についての関心を高める。 ・コンパスではない円の書き方を見つけコンパスの良さについて気づかせるようにする。
2	球の概念とその性質を理解する	
3	まとめ	・いろいろな模様作りを通して、コンパスの扱いに慣れる。

6. 活動の流れ(4/8)

時間	学習内容・指導上の留意点	児童の活動(利用メディア)
0	コンパスの使い方について知る。 ・自分なりの方法で書いてみる。 ・基本的な使い方を見る	・はじめに自由に円をかくことで、コンパスの仕組みについて知る。 ・教師のかき方を大画面で見て、ポイントはどこか考える。
3 5	コンパスで円をかいてみる 友達の使い方を見る。 ・どうすればうまくかけるかを見つけようとする。	・数名の子どものかき方を大画面で見て自分との違いや、より正確な円をかく方法を発見しようとする。

7. 取り組み後の子ども達の変容や成果

黒板で円をかくよりもスムーズに説明ができた。子どもの持っているものと同じコンパスを使いながら説明することで、針の差し方や傾きなど細かい部分の説明をすることができた。最後に「自分のかき方もみんなにみてほしい」という発言もあり、進んで円をかこうという意欲が出てきたようである。

8. 応用できます!

定規や分度器の目盛りの読み方、使い方といった、黒板で説明するのが難しい学習にも使えると思います。

